

機械器具 09 医療用エックス線及び医療用エックス線装置用エックス線管  
一般医療機器 汎用X線診断装置用電動式患者台 40655000

## 特定保守管理医療機器 設置管理医療機器 車載油圧スタンド (CXFP-G4/M)

### 【警告】

- ・操作者及び介添者のX線被ばくを低減すること。X線への最適な防護手段をとること。
- ・本装置使用中は、被検者と装置を観察し、異常を認めた場合はすぐに撮影、装置の使用を中断すること。
- ・トラブルが発生した時の点検・修理は、専門の業者に依頼すること。

### 【形状・構造及び原理等】

#### 1. 構成

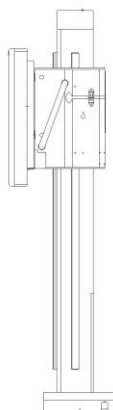
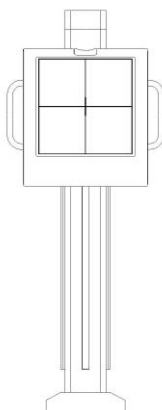
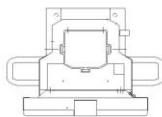
##### (1) 標準構成

本体  
ホルダーボックス  
正面撮影用把手  
ポテンシオユニット(連動用)

##### (2) オプション

側面撮影用把手(院内用)  
生殖腺防護エプロン(院内用)

##### (3) 外観



#### 2. 電気定格

##### (1) 電源定格

電源電圧 : 100V±10%  
周波数 : 50/60Hz  
消費電力 : 0.1KVA

(2) 電撃に対する保護 : クラス I B 形装着部

#### 3. 寸法及び質量

外形寸法 : 最大 695(幅) 1779(高さ) 493(奥行)mm  
質量 : 150kg  
撮像部昇降範囲 : 482±20~1350±20mm(床面~撮像部中心)

#### 4. 昇降速度

周波数 50Hz : 39±7mm/sec  
周波数 60Hz : 48±7mm/sec

#### 5. 作動・動作原理

本装置は X 線診断装置用として平面画像の診断撮影の際に、被検者の体位を調整・保持します。被検者への X 線照射の位置決めを行うために、撮像部の上下可動を電動でおこなう撮影台です。

#### 6. 搭載可能な機器(代表例)

X 線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ  
デジタルラジオグラフィ CXDI-401 COMPACT  
デジタルラジオグラフィ CXDI-401 Wireless

#### 7. 撮影範囲表示

X 線発生装置との撮影距離 2m 想定撮影範囲を表示

### 【使用目的、効能又は効果】

X 線画像診断を対象とする X 線撮影に際して、被検者の体位保持・調整をおこなう車載可能な撮影台です。

### 【使用方法等】

#### 1. 使用環境条件

温度(室温) : 10°C~35°C

湿度 : 30%~75% (結露しないこと)

※室温 10(油温 8°C) 以下での昇降中に音が生じる場合があります。  
作動油温が低いため生じるものであり故障ではありません。油温の上昇に伴い音は消えます。

#### 2. 使用方法

##### 2-1. CXDI-401 COMPACT 搭載

##### (1) 使用前の作業

##### 1) 電源を入れる

電源プラグを AC コンセントに差し込む、又は X 線発生装置の電源を入れ、本装置の電源スイッチを入れる。

##### 2) 車両走行用固定金具を外す

##### 3) デジタルラジオグラフィの電源を入れる

デジタルラジオグラフィの取扱説明書を参照してください。

##### (2) 撮影

##### 1) 被検者の撮影位置に撮像部を調整する

UP/DOWN スイッチで撮像部の高さを調整する。

##### 2) 組合せ X 線発生装置により撮影する

取扱説明書を必ずご参照下さい。

### (3) 使用後の作業

- 1) 撮像部を最下限に下げる
- 2) 車両走行用固定金具で撮像部を固定する
- 3) 電源を切る

## 2-2. CXDI-401 Wireless 搭載

### (1) 使用前の作業

#### 1) 電源を入れる

電源プラグを AC コンセントに差し込む、又は X 線発生装置の電源を入れ、本装置の電源スイッチを入れる。

#### 2) トレー飛出し防止ベルトを外す

#### 3) ホルダーボックス背面、トレーハンドル側上部のトレー開錠ラッチを押しトレーを引き出す

#### 4) 固定具 A をデジタルラジオグラフィのサイズに合わせ、位置を調整する（2段階調整）

#### 5) デジタルラジオグラフィを装着する

固定具 B を引上げ、固定具 A にデジタルラジオグラフィを載せ終えたら固定部 B を戻して下さい。各固定具にデジタルラジオグラフィが正しく収まっていることを確認して下さい。

#### 6) デジタルラジオグラフィの電源ケーブルをデジタルラジオグラフィに装着する

#### 7) ホルダーボックスにトレーを戻す

### (2) 撮影

#### 1) 被検者の撮影位置に撮像部を調整する

UP/DOWN スイッチで撮像部の高さを調整する。

#### 2) 組合せ X 線発生装置により撮影する

### (3) 使用後の作業

#### 1) ホルダーボックス背面、トレーハンドル側上部のトレー開錠ラッチを押しトレーを引き出す

#### 2) デジタルラジオグラフィを固定具から取外す 電源ケーブルコネクタを外して下さい。

#### 3) ホルダーボックスにトレーを戻す

#### 4) トレー飛出し防止ベルトを締める

#### 5) 撮像部を最下限に下げる

#### 6) 車両走行用固定金具で撮像部を固定する

### 3. 緊急停止

緊急時は、緊急停止スイッチを押してください。動作が停止します。解除は、緊急停止スイッチの操作部を、矢印に従い回してください。

#### 【使用上の注意】

- ・指定の機器、付属品、オプション以外は、装置に使用しないこと。
- ・使用の際は、設置環境、使用環境を守ること。
- ・引火性のアルコール、ベンジン、シンナーなどは、製品付近での使用および清掃で使用しないこと。
- ・異常や故障が発見された場合は、点検・修理を専門の業者に依頼し、修理が完了するまで装置を使用しないこと。
- ・使用の際は、手足を挟むことがないように十分注意すること。
- ・車両走行時は車両走行用固定金具を使い撮像部を固定すること。
- ・撮像部、側面撮影用把手、生殖腺防護エプロンを動かす際には、

被検者に動かすことを伝えること。被検者が知らずに、ケガをするおそれがあります。

- ・清掃の際は、各装置電源を切り電源プラグを抜くこと。

#### [高齢者への適用]

- ・高齢者に使用する場合は、必要に応じて介添者を付けること。

#### [妊婦、産婦、授乳婦への適用]

- ・妊娠や妊娠の疑いのある被検者、および授乳中の被検者に使用する場合は、医師の指示のもとで慎重におこなうこと。

#### [小児への適用]

- ・本装置は、対象ではありません。

#### [その他の注意事項]

- ・異常音、異臭、加熱などの異常が生じた場合は、直ちに装置の電源を切り、サービスマンに連絡すること。
- ・廃棄する際は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い処理すること。
- ・この他にも、使用するにあたっての注意事項、取扱説明書に記載してあります。使用する前に必ずお読みください。

#### 【有効期限等】

有効使用期限：指定された保守点検を実施の場合 7年

ただし、使用状態により変化するため、個別に定める場合はこれを優先します。

なお、有効期限内においても次の部品は交換が必要です。

- 1) 定期交換部品
- 2) 故障部品

また、装置を構成する部品の中にはモデルチェンジの周期が早い一般市販部品があり、有効期限内であってもサービスパーツを供給できない場合があります。

#### 【保守・点検に係る事項】

保守点検には「日常点検」と「年次点検」があります。

##### 1. 日常点検

「日常点検」を実施してください。

詳しくは、取扱説明書の「日常点検と保守」を参照してください。

##### 2. 年次点検

「年次点検」をおこなってください。

専門技術が必要です。専門の業者に依頼してください。

##### 3. 清掃

清掃をおこなう際は、取扱説明書「日常点検と保守」を参照してください。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：北斗精機株式会社

住 所：983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町 4-6-3

電話番号：022(232)6211

製造業者：北斗精機株式会社

取扱説明書を必ずご参照下さい。